

令和3(2021)年知事年頭所感

大阪府知事 吉村 洋文

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大が世界の社会・経済に深刻な影響を与えた1年でした。

本府では、この未曾有の危機から府民の命と暮らし、産業と雇用を守るため、かつてない規模の緊急対策を実施し、府民・事業者の皆様のご理解、ご協力のもと、感染拡大の防止と経済活動の両立に取り組みました。

亡くなられた方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、療養中の皆様の一日も早い回復をお祈りいたします。また、医療従事者をはじめ、私たちの暮らしを支えていただいているエッセンシャルワーカーの方々に心から感謝申し上げます。

未だ新型コロナウイルスは予断を許さない状況です。今年もウィズコロナにおける感染拡大防止対策に万全を期すとともに、ポストコロナを見据え、大阪の再生・成長に向けた取組みを強かに推進してまいります。そのためには、大阪府市の協調が不可欠です。昨年の住民投票の結果、大阪都構想は否決となりましたが、府市一体化をさらに強固なものとし、コロナ禍においても危機を乗り越え成長できる大阪の基盤を作り上げる年にしたいと考えています。そして、東西二極の一極として日本をけん引する「副首都・大阪」をめざします。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、かかりつけ医による診療・検査体制の充実や、大阪コロナ重症センターの運用を含めた重症病床の確保など医療提供体制のさらなる整備を図ります。さらに、高齢者施設等におけるクラスター対策の強化や積極的な検査の受診勧奨に全力で取り組めます。

あわせて、大阪の経済を支え、雇用を守る取組みとして、資金繰り支援や国内の需要喚起など、打撃を受けている産業を支援するとともに、失業された方に対する早期の再就職支援などを強かに進めます。

くらしを支えるセーフティネットの充実に向けて、コロナ禍で生活困窮やDV・児童虐待など、不安な生活を送る方々の増加が懸念される中、総合的な対策を講じます。また、緊急時においても子どもたちが学びを通じて健やかな成長を育めるよう、オンライン学習や教育相談を実施します。

コロナ禍にあって、いのちとの向き合い方が世界中で問われている中、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催する大阪・関西万博は、新型コロナウイルス感染症終息後の新たな未来を切り拓くシンボルです。昨年12月には、BIE総会で登録申請書が承認されました。国、大阪府市、経済界が一体となり、万博の成功に向けて着実に準備を進めるとともに、世界の課題解決に貢献する「SDGs先進都市」をめざす取組みを加速させます。

国内はもとより、インバウンド回復後の国外からの観光需要を取り込むため、関西国際空港における水際対策の強化など安全・安心な受入環境の整備や万博に向けたターミナルの大規模改修、大阪の魅力発信の強化を図るとともに、世界遺産百舌鳥・古市古墳群や万博記念公園等の府内各地域の観光資源の魅力に磨きをかけます。さらに、世界最高水準の成長型IRの実現に向けた取組みを推進するなど、内外からの人や投資を引きつけるまちづくりを進めます。

成長の起爆剤となる万博をインパクトに、まちづくりの分野においても AI・IoT等の最先端技術を駆使し、未来の暮らしを先取りする「スーパーシティ」の実現をめざします。うめきた 2 期や夢洲での具体化に向けて、今年春に予定されている国による区域指定をめざします。あわせて、市町村や企業等と連携し、行政の DX(デジタルトランスフォーメーション)をはじめ、府域全体のスマートシティ化を積極的に進めます。

スタートアップは、イノベーションの担い手であり、ポストコロナにおける大阪の成長エンジンです。昨年、京阪神が連携して、スタートアップ・エコシステムのグローバル拠点都市に選ばれました。拠点都市のメリットやライフサイエンス分野の集積など大阪の強みを最大限に活かし、産学官のオール大阪の支援体制のもと、スタートアップが生まれ、活躍しやすい環境整備に取り組みます。

また、健康・医療関連産業の世界的なクラスター形成をめざし、彩都に続き、健都、中之島における未来医療国際拠点において、それぞれ特色ある拠点形成を進めます。

「経済の血液」と呼ばれる金融を活性化し、東京とは異なる個性・機能を持つエッジの効いた国際金融都市を実現するため、新たな挑戦をスタートします。フィンテックなどの新たな金融技術への大胆な規制緩和による「革新的な金融都市」の実現や、魅力ある商品提供等による「アジアのデリバティブ市場をけん引する一大拠点」の創設に特化した取組みを推進し、世界中から大阪に投資を呼び込みます。(

まちの成長のためには、それを支える都市のインフラの充実が不可欠です。淀川左岸線延伸部やなにわ筋線をはじめとする道路・鉄道ネットワークの整備や、うめきた2期、大阪城東部地区、新大阪駅周辺地域といった都心エリアのまちづくりを推進していきます。また、大阪港湾局が中心となり、府市一体の港湾戦略を実行するとともに、ベイエリアの活性化に取り組みます。

近年、自然災害が激甚化・頻発化しており、昨年も7月豪雨により、九州地方をはじめ各地で被害が発生しました。国際都市として世界から信頼を得るためには、災害リスクを低減することが必要です。南海トラフ地震対策をはじめ、ハード・ソフトの両面から対策を行い、災害対応力を高め、安全・安心を確保していきます。

皆様の府政への一層のご理解・ご協力をお願いいたします。本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りいたします。